



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

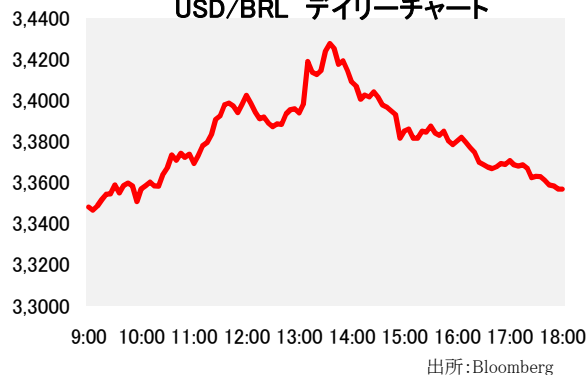
			7月22日	7月23日	7月24日	7月27日	7月28日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,2220	3,2850	3,3550	3,3630	3,3560	-0,0070
	BRL/JPY	Spot	38,47	37,70	36,93	36,64	36,81	+0,17
	EUR/USD	Spot	1,0927	1,0986	1,0986	1,1092	1,1060	-0,0032
	USD/JPY	Spot	123,96	123,88	123,81	123,26	123,57	+0,31
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,975	14,099	14,336	14,302	14,306	+0,004
	Future	1Year(p.a.)	13,779	13,991	14,279	14,277	14,241	-0,037
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	1,480	1,631	1,712	1,713	1,761	+0,048
		1Year(p.a.)	2,091	2,312	2,383	2,351	2,464	+0,113
株式	Bovespa指数		50.916	49.807	49.246	48.736	49.602	866
CDS	CDS Brazil 5y		274,38	291,27	297,83	300,54	291,00	-9,54
商品	CRB指数		209,295	206,974	205,040	202,686	204,391	+1,71

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

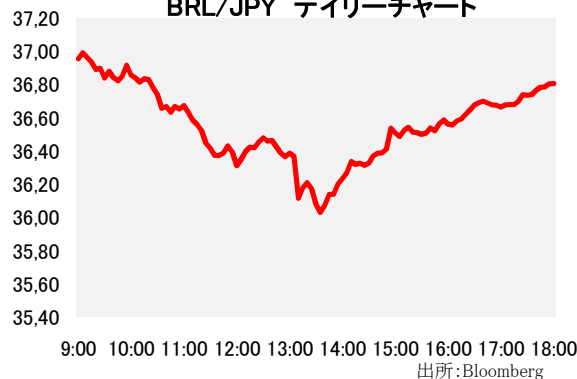
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV建設コスト(前月比)	0.68%	0.66%	1.87%
(米)消費者信頼感指数	100.0	90.9	99.8
(米)リッチモンド連銀製造業指数	7	13	7
(米)マーケット米国コンポジットPMI	--	55.2	54.6
(米)マーケット米国サービス業PMI	55.0	55.2	54.8

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

スタンダード&プアーズ・レーティングズ	ブラジルの2015年の経済は成長しないと予想するほか、2016年も経済成長も穏やかとなるだろう
---------------------	---

4. トピックス

- 本日のリアルは3.3520で寄り付いた。
- 5 営業日で続落していた中国株式市場の下落ペースが落ち着いたことが好感されたことから本日はリスク資産の買いの動きが見られた。
- レアルは上記を受けてオープンから買いが見られると直ぐさま本日の高値となる3.3430を付けた。しかし直後からPTAX決定に向けてドル買いが見られるとレアルは反落、3.4000近辺まで売られた。
- 更に米格付け会社スタンダード&プアーズはブラジルの格付けアウトルックを従来の「安定的」から格付けが下方に向かう可能性を示す「ネガティブ」に修正したことを発表し、市場ではレアル売りに拍車がかかり本日の安値となる3.4320まで下値を拡大した。
- 引けにかけては利益確定と思しきレアル買いが見られたことからレアルはじりじりと反発、結局本日の寄り付きと同水準の3.3650でクローズした。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。